

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

小児腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術時に診断に至った並存疾患の検討			
1. 研究の対象および研究対象期間 2018 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日に昭和医科大学横浜市北部病院小児外科で腹腔鏡下に鼠径ヘルニア（陰嚢水腫）の手術を行った患者さん			
2. 研究目的・方法 腹腔鏡で鼠径ヘルニアの手術を行った際に、鼠径ヘルニア以外の疾患が偶然診断されることがあります。症例毎の報告はこれまでも行われてきておりますが、まとまった報告は多くありません。当院での経験をまとめて報告することにより、手術中に並存疾患がないか観察を行う重要性を検証します。			
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 12 月 31 日まで			
4. 研究に用いる試料・情報の種類 患者さんの年齢、性別、既往歴、術前・術後診断、手術時間、手術中の所見（新たに見つかった疾患名を含む）、執刀者の情報			
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません			
6. 研究組織 研究代表者 昭和医科大学横浜市北部病院 小児外科 八木勇磨 研究分担者 昭和医科大学横浜市北部病院 小児外科 杉山彰英 昭和医科大学横浜市北部病院 小児外科 田中 拓			

昭和医科大学横浜市北部病院 小児外科 安藤晋介

昭和医科大学横浜市北部病院 小児外科 宮嶋康次郎

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院小児外科 氏名：八木勇磨

住所：〒224-8503 神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話番号：045-949-7130 (小児外科外来)